

## 【第1号議案】

# 平成26年度事業報告

### 【事業概要】

今年度は地域ひとづくり事業を活用した新規会員獲得に努めた結果、昨年度より会員数が増加し、平成27年3月末現在の会員数は1,127名となりました。

年度末の事業実績は本体事業（請負・委任）の受注額が昨年度より減少していますが、適正就業に伴う受注形態の振り分けにより、派遣事業が大幅に伸びているため、総合的には昨年度より業績が回復したことになります。

平成26年度は改革・挑戦の年と位置づけ様々な取り組みを行って参りました。おかげさまで一部の取り組みが内外から高く評価され、事業に弾みがつきました。なかでも、「シルバーふれあいサロン やまゆり」は、120人のボランティアによる運営、サロン併設による生きがいの場の創出、地元商店街の賑わいの核になっている事などが評価対象となり、内閣府が定める「平成26年度 社会参加章」を受賞する快挙を成し遂げました。

柏崎市が目玉事業としている「買い物支援事業」を今年度から開始、モデル地区を設定し、ニーズ調査、有償ボランティアの募集を行いました。買い物代行サービスと買い物支援バスツアーの2本立てで平成29年度には全市で展開できるよう実践、検証をしています。

体験型農場「みんなの農場」は、農業後継者育成、異世代間交流、地産地消、遊休地の有効活用、食育の推進などに大いに貢献し、直売所に野菜を出す会員のスキルアップの場にもなっています。

安全適正就業に関しては会員の安全への意識改革に力を入れ、多様な活動に取り組んだ結果、軽微な事故1件にとどまり過去に例を見ないすばらしい結果となりました。

ワークプラザ柏崎は、指定管理3期目に入り、利用者は103,749人（5.1%増）、利用件数は4,886件（1.2%増）、利用料金は9,856,155円（2.4%減）となりました。稼働率は平均53%、部屋によっては70%を超える部屋もあり、市内の公共施設としては大変利用率の高い施設となっています。

#### 本体事業（請負・委任）

受注件数	9,914件	前年比	4.5%減
就業延人員	104,243人日	〃	6.6%減
配分金合計額	348,186,032円	〃	8.0%減
受託金額	436,236,567円	〃	5.3%減
年間就業率	83.3%	昨年度	89.2%
会員数	1,127人	〃	1,085人

#### 一般労働者派遣事業

受注件数	200件（実数28件）
就業延人員	5,973人日
会員賃金	26,995,950円
契約金額	34,485,054円

#### 居宅介護支援事業（介護保険事業）

ケアプラン作成件数	1,859件
受託金額	24,651,122円

### 【部会活動】

#### 広報部会

①会報「シルバーだより柏崎」を2回発行しました。

・第108号 9月15日発行（10頁） ・第109号 4月15日発行（10頁）

※ カラー刷りにして、見栄えのある広報としました。

- ② 毎回、初回の編集会議において、A4 サイズ 1 枚の用紙に全頁の小欄を作り、記事の割り付け作業を行いました。
- ③ 第 108 号は平成 26 年度の定期総会、第 109 号は平成 27 年度の事業計画をメインの記事として編集・発行しました。
- ④ 記事集め、取材、写真撮影は部員と事務局が連携を密にしてまとめました。
- ⑤ 編集作業はパソコンを使用して、表の作成や画像の配置決めなど効率よく進めました。

## 事業部会

リサイクル事業を中心に活動しました。イベント等にも参加し、それぞれの事業のPRを行いました。

### ① シルバーふれあいサロン「やまゆり」

120人のボランティアの当番表を半期ごとに作成し、ボランティアの負担が大きくなるよう、休まれる方の調整等に協力しました。また、会員作品などの受け入れや返品の仕分け、梱卸しを行いました。やまゆり委員会を開催し、運営の問題点や、売り上げを伸ばす方策等を事務局と話し合いました。

### ② 刃物研ぎ

刃物研ぎを行うに際し、各会場付近の町内会へ案内チラシを各戸配布していただけるようお願いをしました。また、作業者とお客様の間に立って、スムーズに事業が行われるよう協力しました。刃物研ぎ班の会議にも出席し、事業の存続について意見を交わしました。

### ③ リサイクル自転車

市から払い下げを受けた自転車やご寄付頂いた自転車を再生し、ワークプラザ柏崎の感謝祭にて26台販売しました。販売に際し、会場の陳列、受付、お客様への対応などを行いました。

### ④ チャイルドシート貸し付け

チャイルドシートのクリーニング委託や破損がないかの確認、破損・不具合のあるものを市へ廃棄依頼するなど管理をし、市民へ貸し付けを行いました。また、市民からのチャイルドシートの寄付を募り、不用なチャイルドシートを受け入れました。

## 女性部会

- ①福祉・家事援助サービス事業及び介護保険事業拡大を図る一環として、柏崎市社会福祉協議会主催のシニアじまん展でのシルバー人材センター展示コーナーの飾り付けや、来場者へのPR活動、ワークプラザ柏崎感謝祭を手伝いました。また、機会があるごとに身近な市民へ口コミ活動を行いました。
- ②就業の質の向上・拡大のため、高齢者に喜ばれるクリスマス料理の講習会や、日本赤十字社新潟支部講師による救急法講習会を開催しました。
- ③会員や一般の方の交流の機会や健康維持のため、ズンバ講習会と茶話会を開催しました。
- ④ふれあいサロン「やまゆり」への出店に協力するため、月に2回手芸教室を開催し、手芸や季節の飾り物など販売できる商品の作製の手助けをしました。

## 研修部会

### ①会員研修会

ヒューマン・サポート柏崎 代表 三井田隆様より「心の豊かさを求めて～長寿社会を上手に生きる～」と題して、高齢化社会の不安要素を考えながら、食習慣、健康習慣を見直し、健康で生きがいを持って生きることについて講演して頂きました。

### ②事業普及啓発促進活動

#### ・クリーン作戦

シルバーの日を中心に会員役職員が一体となり、公共施設、歩道等の清掃ボランティア活動を実施しました。

#### ・会員増強、就業拡大のためのPR活動

シニア作品・じまん展（老人クラブと共催）に参加しました。シルバー人材センター紹介コーナーでは女性部会にご協力頂き、パネル・手芸作品の展示とパンフレットを配布しました。

シルバーサロン「やまゆり」のある東本町振興会でのイベントでポケットティッシュを配布しました。

## 安全部会

平成25年度発生した重篤事故の反省から、平成26年度は全員一丸となって総力をあげて、安全適正就業への意識改革に取り組んで来ました。会員の安全

への意識は確実に上がっており、事故は起こさないという風潮が浸透してきています。その結果26年度は軽微な事故1件にとどまることが出来、過去に例のない良い結果を得ることが出来ました。皆様のご協力に感謝申し上げます。主な活動内容は次の通りです。

- ① 安全目標の掲示、周知
- ② 作業前朝礼の実施の徹底、安全適正就業ミーティングチェックシートを活用し作業前点検実施
- ③ 安全パトロールの強化（4月から11月まで全8回）
- ④ 安全就業通信及び季節ごとの注意喚起文書の配布
- ⑤ 安全就業シール配布
- ⑥ 救急箱の配布
- ⑦ ヒヤリハット事案を募集
- ⑧ 連合会主催の安全講習会へ参加
- ⑨ 交通安全講習会へ参加（運転作業従事者）
- ⑩ 安全・適正就業推進委員及び職群班合同会議の開催 150名出席
- ⑪ 「安全就業必携ハンドブック」の常時携帯と活用の徹底
- ⑫ 家族への就業先明確化の徹底

※このように多くの安全活動を実施し、安全への意識高揚に努めました。

#### 総務部会

- ① 中長期計画に沿った運営をしているか検証し、来年度軌道修正を行うことを提案しました。
- ② 会員同士の親睦をはかるため、忘年会・研修旅行を実施しました。

#### 【ワークプラザ柏崎】

ホテルのフロントのような対応を合い言葉に、親しまれる公共施設を心がけました。アンケート調査では、大勢の方より「利用しやすい施設」との評価をいただきました。稼働率を意識し、空き部屋有効活用を目的とした自主事業を行いました。また、秋には「ときめき」をテーマにワークプラザ柏崎感謝祭を開催し、2,700人もの来場者で賑わいました。